

# Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.187 2023.10.1

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4 丁目 698-1  
大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 若杉研究室  
TEL : 090-1026-1413 FAX : 050-3488-5061  
E-mail : jsei@jsei.jp HP : <http://jsei.jp/home/>

## \*\*\*\*\* 第 38 回定時総会報告 \*\*\*\*\*

2023 年 8 月 26 日（土）関西国際大学にて、日本教育情報学会第 39 回定時総会（オンライン形式併用）が開催されました。

正会員 480 名のうち 227 名の出席があり（委任状による出席者 146 名を含む）、定款 27 条により総会は成立し、安達一寿会長を議長として総会を開会いたしました。

【提案された議案】（Newsletter No.186 をご参照ください。）

- 第 1 号議案 2022 年度事業報告及び収支決算の件
- 第 2 号議案 2023 年度事業計画及び予算案の件
- 第 3 号議案 役員選任の件

第 1 号議案は、原案通り承認されました。

第 2 号議案は、原案通り承認されました。

第 3 号議案は、原案通り承認されました。

## \*\*\*\*\* 日本教育情報学会第 39 回年会開催報告 \*\*\*\*\*

第 39 回年会実行委員会委員長  
陳那森（関西国際大学）

第 39 回年会は「AI 時代における学びの多様化を考える」をテーマに掲げ、2022 年 8 月 26 日（土）、27 日（日）に関西国際大学（兵庫県神戸市）にて、4 年ぶりに対面開催されました。参加者 192 名、発表申込者 147 件（辞退者含）、そして 13 社による企業様の協賛をいただきました。

AI テクノロジーの飛躍的な進歩は、私たちの生活や社会のあり方にさまざまな変革をもたらしつつあります。その中でも最も大きな影響を受けるのは教育分野とされており、

教育の在り方の根幹を大きく変える必要があるとも言われています。特にここ数か月間、ChatGPTをはじめとした生成 AI が大きな話題を呼んでいるのはご周知の通りです。

文部科学省は約 3 か月をかけて検討を重ね、学校の夏休みに間に合わせるかのように、7 月 4 日に「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」を公表しました。大学等における生成 AI 活用に関しては、文部科学省の高等教育局が 2023 年 7 月 13 日に「大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて」を発表し、それぞれの機関の実情に合わせて自主的にガイドラインを策定するのが望ましい、と「自主性」が重視されています。

いずれにせよ、われわれの今後の教育活動においては、生成 AI を前提とした授業設計や生成 AI と共存する中での教育活動が基本になるのではないかと推測されます。このように AI による教育の大きな変革の時期に、「AI 時代における学びの多様化を考える」をテーマに本年会が開催できたことは、大変意義深いものであったことに違いありません。

年会の基調講演は、「ポストコロナと大学設置基準改正後の 3 つのポリシー」と題して、関西国際大学学長・学校法人濱名山手学院 理事長濱名篤先生にいただきました。高等教育よりの話題でしたが、参加者の皆さんは興味深く聞き入り、質疑応答も活発に行われました。

シンポジウムでは、コーディネーター・沖 裕貴先生（立命館大学）の進行により、気鋭の 5 名の皆様にご登壇いただきました。5 名のパネリストからは、①教育におけるデータ活用を推進する視点、②教育 DX、学びの最適化の視点、③中等教育を中心とした ICT 教育研究の視点、④大学における情報基礎教育の視点、⑤教育行政、初等教育における ICT 教育の視点からご発言いただきました。参加者からも、対面・オンライン参加の枠を超えて、質問・意見が多数寄せられ、沖先生の進行のもと活発な議論が展開されました。

また、特別セミナーにおいては、本郷 健先生（大妻女子大学）より、「教育情報の新たなアプローチ ～プログラミング教育の学びと脳研究～」と題し、コーディネーターの小熊 良一先生（群馬大学）の進行の下で行われ、プログラミング学習が脳のニューロンの発達や繋がりを促進し、脳の認知能力を高める効果があることが明らかにされつつある脳研究を進めてきた過程での手続きや課題について会員と情報共有していただき、また活発な質疑応答が行われ、たいへん有意義な機会となりました。

年会終了後に、「多くの方とお会いする事ができて、楽しく過ごさせていただきました」「楽しい年会に参加できたこと御礼申し上げます」といったお喜びのメッセージをお寄せいただきました時に、久しぶりの対面開催の喜びが、開催校の数々の不手際やご不便をお掛けしたことを、遥かに大きく上回った結果だったことを確信いたしました。ほんとうにありがとうございました。コロナ禍を経験した私たち、DX 化、AI が著しく進歩している時だからこそ、アナログ式コミュニケーションの貴重さがより大切になっていることの現れでもあろうと切実に感じた次第です。

第 39 回年会は、参加者・発表者の皆様、座長の皆様、学会運営本部の皆様、実行委員会の皆様、協賛企業の皆様など、多くの方々のご協力によりまして、無事を終えることができましたことに深く感謝申し上げます。

次年度もぜひ、第 40 回年会開催校・青山学院大学にて、再び多くの皆さまとお目にかかり、研究交流ができますこと、楽しみにしております。

\*\*\*\*\* お知らせ \*\*\*\*\*

◆研究会新規募集

この度、本学会の研究のますますの発展・向上を願い、現在の研究会について見直しを行い、新しく研究会を創り出していくことといたしました。

つきましては、学会員の皆様に、日本教育情報学会の研究として特に取り組んでいきたいと考えられる内容について、同じ志の仲間を募っていただき、研究会を発足し、その研究を追究していく活動を行っていただきたいと考えております。ぜひ多くの皆さまから、研究会の発足をいただき、活発な研究会の活動がおこなわれますことを願っております。申請の詳細は、メールにてお知らせをいたしておりますので、ご確認ください。または、研究会委員会委員長・齋藤 (youko@gijodai.ac.jp) までお尋ねください。

◆年会費納入のお願い

2023 年度・過年度年会費について、納入がお済みでない方には、順次メール連絡、自宅・勤務先に電話連絡、登録されています住所へ郵送連絡をしております。至急、ご確認ください、お手続きをお願いいたします。

お支払いいただいた際の振込金受領書は大切に保管してください。その他、会費お支払い等についてご不明な点のある方は、事務局までお問い合わせください。

◆「教育情報研究」投稿募集

日本教育情報学会では年間 3 回の機関誌「教育情報研究」を刊行しております。掲載内容は教育情報に関する原著論文をはじめ下記の論文を掲載しています。会員は自由に投稿ができます。投稿方法等詳細については学会 HP をご参照ください。

○論説・解説      ○論文      ○実践論文      ○研究報告      ○その他

◆ご登録の住所・勤務先等の変更について

ご自宅や所属先の住所等に変更がある場合は、学会 HP 内のお問合せ>会員登録情報変更より変更手続きを必ず行ってください。

日本教育情報学会「第 40 回年会」開催

会 場 : 青山学院大学 (予定)

開催日 : 2024 年 8 月末 (予定)

※詳細は次号掲載予定